

一般質問

6 池田裕之(天政会)



●有害鳥獣資源化事業について
●台風接近による避難対策について



QRコードで質問の動画が見られます。

池田 イノシシの出没は昼夜を問わず田や畑に現れ楽しみに作っていた自家野菜や稲を食い荒し、さらに畦、溝、農道までも破壊している。捕獲したイノシシの6割が埋設処理されており処理施設は必要と思う。計画されている新和町の施設は、年間何頭の処理を計画しているのか。同型の施設を持つ武雄市では、処理した肥料の販売について認可が出ていないが。

い地域もあるため、各地域や区ごとに要件を定め整備を。また、発電や自家用水の確保ができる施設はあるか。各温泉施設の避難要件整備を。
総務部長 発電設備のある避難所は8箇所。台風10号による避難勧告発令時には、すべての避難所に発電機を配備した。

経済部長 年間の処理頭数は1,600頭程度を計画。肥料などに向けて取り組んでいきたい。
池田 中田港近くに設置予定だが、運営主体はどこか。生体での持ち込みもあるが、イノシシにはダニなど付着している。近くに加工所があるが、問題はないか。
経済部長 運営は、地元猟友会に委託する。衛生対策も対応する。
池田 令和2年の夏は、豪雨や台風接近による避難勧告が発令された。市の避難所では、収容できない。



▲イノシシに畦を荒らされた水田

役所を動かす質問の仕方

2020.10.29 天草市議会研修

自治体経営コンサルタント 川本達志

講演では、一般質問とは1人の議員として、執行部の政策、施策の在り方の問題を問い質し、必要によっては具体的な施策を提案し実行を要するものである。議員活動の中でも最重要の活動であり、かつ住民の利益を優先しなければならない。そして、良い質問とは、住民全体の「福祉の増進」に関して成果を出すことであるとのことでした。

今回の研修を通して全議員が、日頃の議員活動の中で住民の暮らしの現実と課題を把握し、住民と十分なコミュニケーションを取りながら、住民の意思を議会の場で見える形で具現化する必要があります。そのために最も有効なツールが一般質問であることを再認識し、また本来住民に身近な代表機関である議会とその構成員である議員が、地域住民にとって不可欠な存在にならなければならないと痛感した研修会となりました。

議員力の向上を目指して!

議員研修 ~一般質問で役所を動かす~

10月29日に「役所を動かす質問の仕方」をテーマに天草市議会議員研修会を開催しました。今回は、コロナ禍の中、3密を避け、議場でリモートによるオンラインでの研修となりました。

講師に、広島県庁職員、広島県廿日市市の副市長を経て、現在は(株)野村総合研究所上級コンサルタントを務めるなど、地方議会議員向けのセミナーを数多く開催されている川本達志氏に、ご自身の経験も含めたご講演をいただきました。



▲初めてリモートによるオンライン研修を開催



▲画面を見ながらの講師との質疑応答

追悼 故中村五木市長

昨年12月31日、中村五木市長が急逝されました。中村市長は、昭和61年7月に牛深市議会議員に初当選され、合併後は天草市議会議員として平成25年12月まで通算26年、市長として平成26年4月から6年間の長きにわたり、類まれなるリーダーシップにより本市の発展に貢献いただきました。

生前のご尽力に対し深く感謝いたしますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

天草市議会

7 蓮池良正(日本共産党)



●高齢者を元気にさせるまちづくり
【介護保険事業計画をめぐって】



蓮池 令和3年度から3年間で第8期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画期間となっており、近日中に関係者への説明会や市民への意見公募が実施される。
介護保険料の改定は3年毎で、その度に「介護保険料の引上げをしないでください」との市民要求をテーマに、介護保険制度の構造問題を含めて申し上げてきた。住民人口の高齢化が先行している本市は、社会的介護制度の充実が、避けて通れない地域の現状がある。長生きできることは、本市の長所。高齢期を迎えた市民が安心して過ごせるように、支え合いのしっかりした屋台骨を市政が担っていますとのメッセージを、改めて発していくことが大切では。
健康福祉部長 平成27年から取り組んでいる住民主体の「通いの場」は、現在185箇所、約2,650人が参加されるなど、広がっている。平成26年度まで増加傾向

の要支援者等が、平成27年度後半以降は減少傾向(610人減、マインス24・7%)に転じ、各地域で自立した高齢者の方が増えている。保険者機能強化推進交付金制度等で、本市は県内1位、全国4位の評価点と、高い評価を受けている。
蓮池 コロナ禍の下でも、「通いの場」的な住民同士が支え合う機会への行政支援が大切。

